

市議会報告 もりた真弓



もりた真弓

長作・こてはし台連絡所見直し 利用者や地域住民の声聞かずに進めるな！

もりた議員は、連絡所について資産の総合評価を受けた今後のスケジュールについて質問。市は「コンビニ交付開始5年を目途に」としつつ、「具体的な検討を行う段階で、その方向性や再配置の素案について地元説明や意見交換等を行なう」と答えました。

連絡所の見直し方針を行なった資産経営課も、担当である市民局も地域に説明をおこなわるのは大問題であり、「市が決めたことを住民にご理解いただく」というやり方はあらため、連絡所をどうするのかの相談から行うべきです。



連絡所について懇談を行うもりた議員(6/24)

花見川区北部は交通不便を強いられている地域 バスの乗継運賃制度の導入を



こてはし温水プールとさつきが丘を結ぶ
バスのチラシ



実際に運行されているバス

もりた議員はバス交通について、区役所利用時の乗り継ぎ運賃の解消について質問し、市は「千葉市総合交通政策において、乗継運賃制度の導入促進を位置づけていることから、バス事業者に検討を要請する」と答えました。

今年6月から民間事業者が、こてはし温水プールとさつきが丘を結ぶバスを運行している例を示し、乗用車を使っての区役所への輸送経路の検討を求めました。市は「地域参画型コミュニティバス等運行支援制度」の活用による支援を行うという従来の姿勢です。市は乗り継ぎ運賃制度を導入すべきです。

買い物で人も地域も元気になる！ —身近な商店街が果たす役割大きい

さつきが丘旧小売市場へのトップマート開店は住民から喜ばれていますが、隣接する商店街への影響が心配されています。もりた議員は、さつきが丘の例を示し、商店街の役割と支援策について質問しました。市は、「全国チェーンと個人商店の共存・共栄で地域住民に良好な買い物環境を提供している」との認識を示しました。

あわせて商店街の空き店舗活用について取り上げ、商店街に設置された「あんしんケアセンター」の増設を含め、空き店舗に「寄り合い的スペース」の開放を求めました。



さつきが丘の名店街

党市議団提出の意見書に対する各会派の態度

○=賛成 ×=反対

意見書・請願名	共産党	自民党	民未来	公明党
公文書の隠蔽・改ざん事案の真相究明を求める意見書	提出	×	○	×
オスプレイ配備をやめるよう求める意見書	提出	×	×	×
憲法第9条の改正をやめるよう求める意見書	提出	×	○	×
動物の愛護及び管理に関する法律の改正及び動物の適正飼育などの啓発活動の強化を求める意見書	提出	×	○	×
UR賃貸住宅に安心して住み続けられるよう求める意見書	提出	×	×	×

編集後記

不正・不祥事続きの文科省、厚労省、国交省、「この国はどうなってしまうのか」。党市議団が実施したアンケートには、「嘘・偽り」がまかり通る政権や官僚への不信・不安・怒りがつづられています▶国政や市政に、住民の願い・思いが通じないことで「何を言ってもムダ」とのあきらめがある一方で、「批判精神」「改革精神」の不足を叱咤する声もありました▶「野党は協力して頑張れ」との激励に応え、私たちは、激動するこの時代を生きる者として、明るい未来のために共に声をあげ、共に行動してまいります▶今年もアンケートにご協力いただいた2千名を超える市民のみなさま、ありがとうございました。「市民が主役の社会」を実現するため、と一緒に力を合わせましょう。(K)

ご意見・ご要望はお気軽にどうぞ



*市民ネットワークおよび無所属議員は、議会運営委員会に委員がないため態度表明はありません。賛成・反対が同じ場合、委員長（自民党）による採決（反対）で、共産党提出の意見書は本会議に上程されませんでした。